

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興	
			施策の小項目名	○県内産業界によるMICEの活用促進	
主な取組	展示会、商談会、見本市の開催支援			実施計画記載頁	245
対応する主な課題	①沖縄県内において様々な展示会・商談会を開催し、県内産業の成長を図っていくためには、大型展示場を整備することはもちろんのこと、多くの出展者や来場者が集まり、かつ高い商談成約率が望める魅力的な開催環境を作り出せるかが重要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
主催者等への誘致活動と産業界の取組を促進する。						
実施主体	県、産業界					
担当部課【連絡先】	商工労働部アジア経済戦略課 【098-866-2340】					
		主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 展示会等総合推進事業							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)						18,921	20,922	一括交付金(ソフト)	
予算事業名 展示会先進地等調査							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)					21,120	0			

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
					推進体制を構築	誘致等実施	誘致等実施	100.0%	18,921	順調
活動指標名					H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案								反映状況		
①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置								①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置することで、主催者等との緊密な連携が図られた。		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

○外部環境の変化

・アジア・太平洋地域の販売展示会面積は増加傾向にあり、アジアの経済発展に合わせて展示会の開催需要が高まっている。  
・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。  
・企業データベースと海外拠点を事業基盤とする香港など、展示会先進地では、MICEを活用した産業振興の基盤となる機能が構築されている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフと、国内外の先進地等との連携を強化し、ノウハウや情報収集に活かす。

### 4 取組の改善案(Action)

・国内外の先進地等との連携を強化する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興	
			施策の小項目名	○県内産業界によるMICEの活用促進	
主な取組	MICE産業人材の育成			実施計画記載頁	245
対応する主な課題	①沖縄県内において様々な展示会・商談会を開催し、県内産業の成長を図っていくためには、大型展示場を整備することはもちろんのこと、多くの出展者や来場者が集まり、かつ高い商談成約率が望める魅力的な開催環境を作り出せるかが重要である。 ②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
ホテル、PCO/PEO、DMC・旅行会社、交通・運輸業者、MICE施設事業者、その他多くの民間事業者がMICEプレーヤーとして活躍できるよう、各種セミナーや実践的な研修等により高度で専門的な人材の育成・確保に取り組む。						
実施主体	県、OCVB	MICE専門人材育成の講座・セミナー開催				
担当部課【連絡先】	商工労働部アジア経済戦略課	【098-866-2340】				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)			
予算事業名 展示会等総合推進事業							R元(H31)年度			平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H30年度: MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施した。 ○R元(H31)年度: MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施する。	
一括交付金(ソフト)						18,921	20,922	一括交付金(ソフト)		
予算事業名 展示会先進地等調査							R元(H31)年度			平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H30年度: 展示会等を活用したビジネス・産業の創出と発展につなげるための、調査及び誘致活動を実施した。 ○R元(H31)年度: 展示会等総合推進事業の中で展示会先進地等の情報収集を実施する。	
一括交付金(ソフト)					21,120	0				

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
				推進体制を構築	誘致等実施	誘致等実施	100.0%	18,921	順調	国内外の展示会開催地の調査や主催者への誘致活動を実施した。 また、産官学連携を図るため、沖縄MICEネットワークの活動の中で産業界の取組を促進するための勉強会等を実施した。	
活動指標名					H30年度						
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
活動指標名					H30年度						
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
								主催者等への誘致活動と、産業界の取組促進について、計画に基づき実施した。 沖縄MICEネットワークにおいて、展示会主催者等による勉強会を実施した。			
(2)これまでの改善案の反映状況											
平成30年度の取組改善案						反映状況					
①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置						①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置することで、主催者等との緊密な連携が図られた。					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

○外部環境の変化

・アジア・太平洋地域の販売展示会面積は増加傾向にあり、アジアの経済発展に合わせて展示会の開催需要が高まっている。  
・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。  
・企業データベースと海外拠点を事業基盤とする香港など、展示会先進地では、MICEを活用した産業振興の基盤となる機能が構築されている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフと、国内外の先進地等との連携を強化し、ノウハウや情報収集に活かす。

### 4 取組の改善案(Action)

・国内外の先進地等との連携を強化する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興	
			施策の小項目名	○県内産業界によるMICEの活用促進	
主な取組	MICE限定制度の導入検討			実施計画記載頁	245
対応する主な課題	①沖縄県内において様々な展示会・商談会を開催し、県内産業の成長を図っていくためには、大型展示場を整備することはもちろんのこと、多くの出展者や来場者が集まり、かつ高い商談成約率が望める魅力的な開催環境を作り出せるかが重要である。 ②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
展示会・商談会の開催時に、海外から展示販売等の商品を日本国内に持ち込む際の関税等の課税免除手続きの簡素化、MICE参加者の出入国手続きの迅速化に向けた新たな制度の導入可能性を検討する。						
		調査	制度検討、関係団体との調整			
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	商工労働部アジア経済戦略課、文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2340】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 展示会等総合推進事業							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	0	0	0	0	18,921	20,922	一括交付金(ソフト)	○H30年度: 展示会等の誘致活動や開催支援等と合わせて、各種制度に関する調査を行った。 ○R元(H31)年度: 展示会等の誘致活動や開催支援等と合わせて、制度的な課題に関する調査を行う。





## 様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
平成30年度の取組改善案	反映状況
①国内外の展示会ビジネス先進事例について、関係者との意見交換を行い、魅力的な開催環境に向けた取組を検討する。	①保税等に関する制度を把握し、制度的な課題解決に向けた取組の参考とすることができた。



### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)	
○内部要因  ・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。	○外部環境の変化  ・国内の他の都市において、常設保税展示場の認定を受けた施設が2019年に開業予定であり、沖縄における展示会の振興に向けてはこうした都市と競争しうるような制度設計を行う必要がある。
(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)	
・展示会主催者や参加者の利便性や負担軽減につながる効果的、実効的な制度について更なる調査検討が必要である。	

## 様式1(主な取組)



### 4 取組の改善案(Action)

- ・国内外の先進事例について関係者との意見交換を行い、制度的課題等について調査し、魅力的な開催環境に向けた取組を検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-オ	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興	
			施策の小項目名	〇MICE関連産業の創出	
主な取組	主催者等とのマッチングイベント開催			実施計画記載頁	245
対応する主な課題	②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
展示会主催者等に対し沖縄のMICE開催環境をPRするとともに、県内での展示会等開催に向けた産業界の取組を促進する。						
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	商工労働部アジア経済戦略課 【098-866-2340】					
		主催者とのマッチングイベント開催				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
展示会等総合推進事業									〇H30年度: MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施した。 〇R元(H31)年度: MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施する。
一括交付金(ソフト)						18,921	20,922	一括交付金(ソフト)	
展示会先進地等調査									〇H30年度: 展示会等を活用したビジネス・産業の創出と発展につなげるための、調査及び誘致活動を実施した。 〇R元(H31)年度: 展示会等総合推進事業の中で展示会先進地等の情報収集を実施する。
一括交付金(ソフト)					21,120	0			

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
					推進体制を構築	誘致等実施	誘致等実施	100.0%	18,921	順調	<p>国内外の展示会開催地の調査や主催者への誘致活動を実施した。</p> <p>また、産官学連携を図るため、沖縄MICEネットワークの活動の中で産業界の取組を促進するための勉強会等を実施した。</p>	
活動指標名					H30年度							
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
								18,921			順調	<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>主催者等への誘致活動と、産業界の取組促進について、計画に基づき実施した。</p> <p>実施内容としては、有望案件に対する開催支援等及び沖縄MICEネットワークにおける勉強会を実施した。</p>
活動指標名					H30年度							
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
(2)これまでの改善案の反映状況												
平成30年度の取組改善案						反映状況						
①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置						①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置することで、主催者等との緊密な連携が図られた。						



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

○外部環境の変化

・アジア・太平洋地域の販売展示会面積は増加傾向にあり、アジアの経済発展に合わせて展示会の開催需要が高まっている。  
・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。  
・企業データベースと海外拠点を事業基盤とする香港など、展示会先進地では、MICEを活用した産業振興の基盤となる機能が構築されている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフと、国内外の先進地等との連携を強化し、ノウハウや情報収集に活かす。

### 4 取組の改善案(Action)

・国内外の先進地等との連携を強化する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興	
			施策の小項目名	〇MICE関連産業の創出	
主な取組	MICE専門事業者の集積			実施計画記載頁	245
対応する主な課題	②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
国内外の展示会主催者等への誘致活動と、県内での展示会等開催に向けた産業界の取組を促進する。						
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	商工労働部アジア経済戦略課 【098-866-2340】					
		PCO/PEOの連携体制構築、県内誘致の働きかけ				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 展示会等総合推進事業							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)						18,921	20,922	一括交付金(ソフト)	
予算事業名 展示会先進地等調査							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)					21,120	0			

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
					推進体制を構築	誘致等実施	誘致等実施	100.0%	18,921	順調	<p>国内外の展示会開催地の調査や主催者への誘致活動を実施した。</p> <p>また、産官学連携を図るため、沖縄MICEネットワークの活動の中で産業界の取組を促進するための勉強会等を実施した。</p>
活動指標名					H30年度						
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
								進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果			<p>主催者等への誘致活動と、産業界の取組促進について、計画に基づき実施した。</p> <p>実施内容としては、有望案件に対する開催支援等及び沖縄MICEネットワークにおける勉強会を実施した。</p>
活動指標名					H30年度						
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
(2)これまでの改善案の反映状況											
平成30年度の取組改善案						反映状況					
①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置						①展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフを配置することで、主催者等との緊密な連携が図られた。					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

○外部環境の変化

・アジア・太平洋地域の販売展示会面積は増加傾向にあり、アジアの経済発展に合わせて展示会の開催需要が高まっている。  
・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。  
・企業データベースと海外拠点を事業基盤とする香港など、展示会先進地では、MICEを活用した産業振興の基盤となる機能が構築されている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・展示会等の誘致や開催支援等を行う専任スタッフと、国内外の先進地等との連携を強化し、ノウハウや情報収集に活かす。

### 4 取組の改善案(Action)

・国内外の先進地等との連携を強化する。